

美瑛富士・携帯トイレブース等点検パトロール実施報告書

(2019.5.1 改定)

実施年月日	2019年9月1日	団体名/所属先	道央地区勤労者山岳連盟 自然保護委員会
参加人数	8人	報告者	伊吹 省道

NO	点検項目	結果と措置内容
1	携帯トイレブース本体 (テントの破損は無い、固定ロープの緩み等)	仮設：特に異常なし 常設：特に異常なし
2	携帯トイレブース内 (汚れていないか、便座の破損はないか等)	仮設：特に異常なし 常設：特に異常なし
	ブース利用カウンター値	カウンター数値：仮設：2363 常設：6
3	小屋周辺のティッシュや汚物の散乱状況 (ティッシュや汚物の回収数の確認、その他のゴミ散乱状況確認、回収)	ティッシュ回収数：0 汚物の回収数：0
4	小屋内外 (損傷した箇所はないか等)	きれいになっていた。
5	小屋内 (清掃はされているか、放置したゴミはないか、小さなゴミは回収したか等)	きれいになっていた。
6	小屋配備の携帯トイレの補充	在庫：3個。 補充：14個
7	回収ボックス (白金観光センター隣のトイレ横) *鍵番号は530 (ゴミゼロ)	カウンター数値：— カウンター無し 携帯トイレの数：7個

感想・特記事項
<p>常設のブースは広くて快適に用を済ますことが出来たという感想があった。ウエットティッシュ2種類を補充した。望岳台シェルター横の回収BOXは鍵がかかっていたが、かなりの利用者がいた。およそ30個くらいが入っていた。一方、白金温泉公衆トイレ横の回収BOXは鍵番号がわからない人が回収BOXの近くに捨てていた。回収してBOXに入れた。新設の常設ブースの入り口に雨水が溜まらないように導水溝の側溝を掘り、ドアの前には礫岩を敷いた。</p>

参加者名 (※はリーダー)
<p>※伊吹、横関、渡部、屋代、永井、干場、川村、沈 (シム)。</p>

●実施後、速やかに写真を添付し、メール(hokkaido@yamatoilet.jp)にて報告のこと